

パツモル太郎™

施工仕様書

～梨肌（コテ通し）仕上げ～

2009年 9月作成

2016年 11月改訂

2017年 04月改訂

2019年 06月改訂

デュポン・スタイロ株式会社

- 仕上げパターン：刷毛引き鳳梨肌（コテ通し）仕上げ
- 商品名：パツモル太郎
- JIS 分類：JIS A 6909 可とう形外装薄塗材 E
- 下地：スタイロフォーム<sup>TM</sup>AT

●使用材料

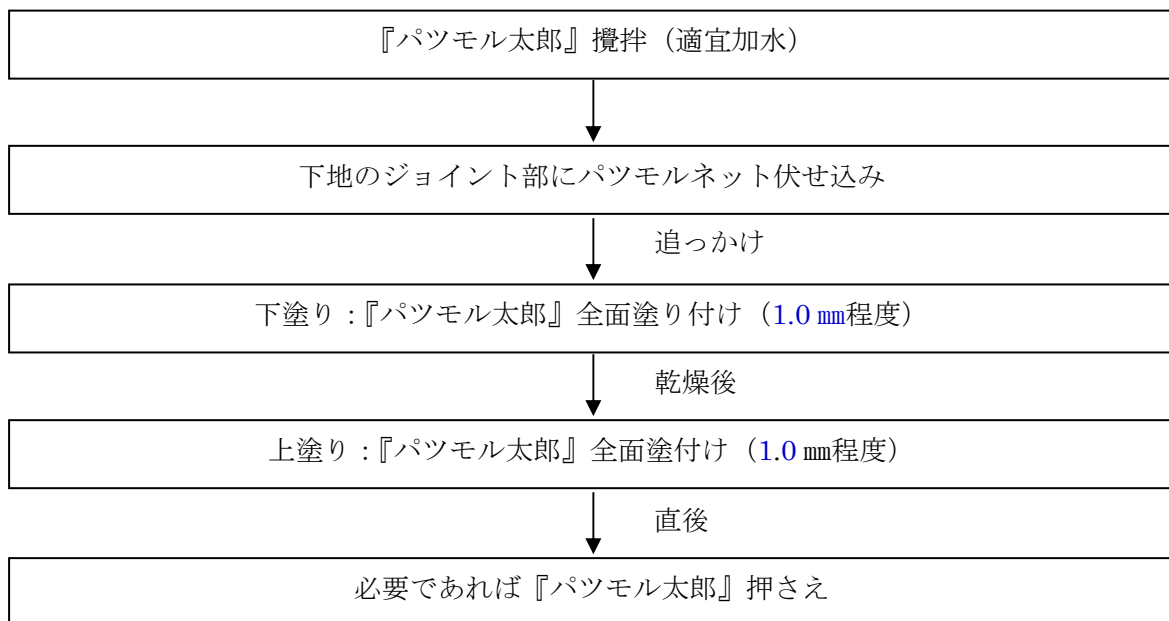
	使用材料	塗付方法	概要	荷姿	標準施工面積
主材	○パツモル太郎	コテ塗り	樹脂系	20kg プラスチック ペール缶	約 6 m <sup>2</sup> /缶
補強材	○パツモルネット 16 cm×50m 巻	コテにて 伏せこみ	耐アルカリ性 ガラス繊維ネット	1 ケース 6 本	—

注) 施工しやすい状態まで加水して使用下さい。但し、加水過多になると、ひび割れが生じやすくなるので初期の加水は1% (200cc) を上限とし、使用途中の加水は、初期と合わせて2% (400cc) 以下としてください。

加水しない場合も主材はしっかり攪拌してご使用下さい。

施工条件等により各々多少の幅を生じることがあります。

<施工の流れ>



<主な施工道具>

- ・金ゴテ
- ・スチロールコテ（木コテもしくは断熱材）
- ・仕上げコテ（ステンレス製の腰の柔らかいもの）

●刷毛引き仕上げ施工方法

使用材料		塗回数	使用道具	
ネット 伏せ込み	①パツモル太郎 主材：20kg 清水：適宜	—	金ゴテ	『パツモル太郎』を用い、下地のジョイント部にパツモルネットを伏せ込んで下さい。
下塗り		1	金ゴテ	コテで全面に 1.0mm程度平滑に塗り付けて下さい。
塗付け	②パツモルネット	1	金ゴテ	下塗り乾燥後、1.0mm程度全面にこすりつけるように塗り付けて下さい。
押さえ		—	仕上げコテ	必要であれば、仕上げコテを縦に動かし、平滑に押さえる。 (図-3)

- ※ 下地断熱材は同時打ち込みが原則です。後張りの場合、断熱材が動きパツモル太郎がフクレたり切れたりする場合がありますので避けてください。
- ※ 下地断熱材表面にドロ等が付着しているとパツモル太郎がフクレます。タワシ等でドロを落としてから施工下さい。
- ※ 不陸調整が必要な場合、パツモル太郎を塗り付け、面を平滑にして下さい。
- ※ セパ穴等は、エチレン酢ビ系合成高分子エマルジョンを添加したサンドモルタルで処理下さい。
- ※ 隙間がひどい場合、隙間の深さに対し、1/3 以上はパツモル太郎を埋め込み、壁面にレベルを合わせて下さい。充填後、パツモルネットを伏せ込んで下さい。(写真-1、図-1)
- ※ 気温が高い場合や直射日光が当たる場合は、可使時間が短くなりますので、パターン付けは塗り付け直後に行ってください。
- ※ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり・乾燥性を確認して下さい。
- ※ 乾燥を確認した上、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
- ※ 特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。

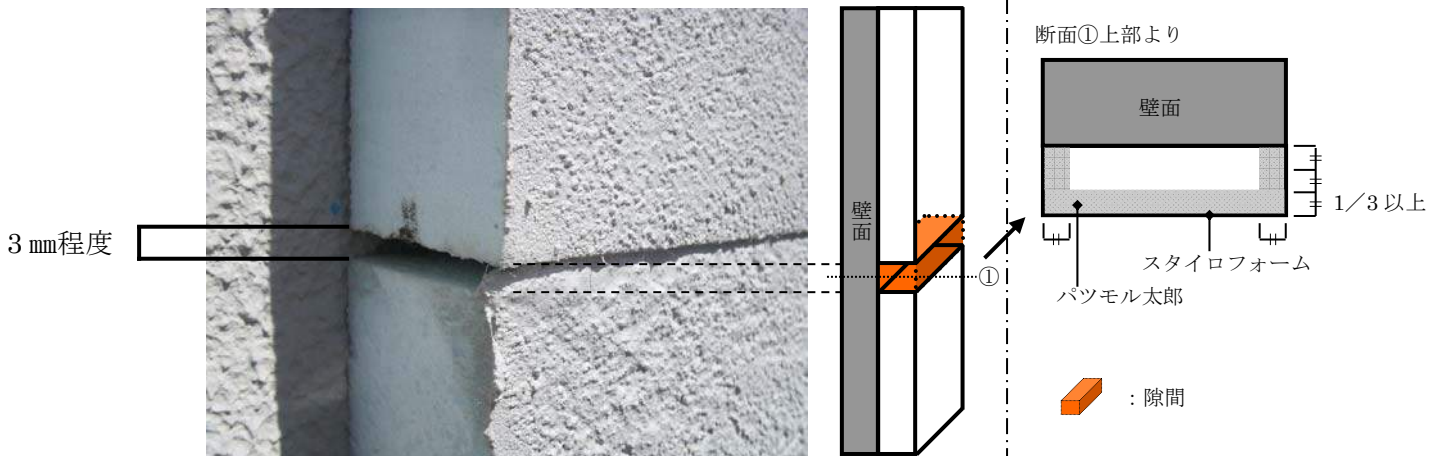


写真-1. 隙間 (例)

図1. 隙間 (例)

<施工のポイント>

パツモルネットの伏せ込み

- ・ネット幅より広い範囲に下塗りし、ネットの伏せ込みを確実に行う。(写真2、3)

写真-2

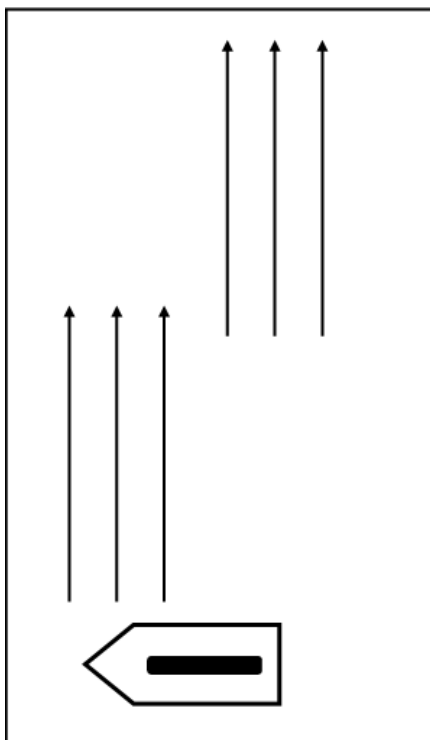


写真-3

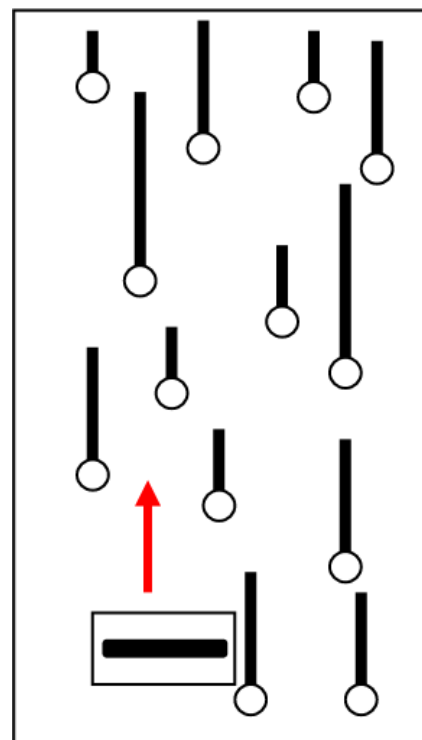


パターンづけ

- ・スチロールコテ（木コテもしくは断熱材）を用いて縦にこすり、骨材が転がるようにパターンをつける。(図-2)
- ・骨材が転がりにくい場合は、スチロールコテ（木コテもしくは断熱材）をきれいに洗浄してからパターン付けを行う。
- ・必要であれば、仕上げコテを縦に動かし、骨材が転がって出来た凸部が平滑になるように押さえる。(図-3)



( 図-2 )



( 図-3 )

●諸注意

<使用上の注意>

- 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり・乾燥性を確認して下さい。
- 乾燥を確認した上、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- 塗り継ぎが生じる場合は、その部分に化粧目地を設けて塗り継ぐようにして下さい。化粧目地を設けずに塗り継ぐと、塗り継ぎ部分を平滑にするために塗り厚が厚くなり、クラックが入り易くなる、施工面積が想定よりも少なくなる等の問題が生じることがあります。
- 気温 5℃以下での施工は避けて下さい。
- 工事中は周辺のほかの部材及び仕上げ面を汚損しないよう養生テープにて養生を行って下さい。  
万一付着した場合は水で洗浄して下さい。
- 練り水、容器、攪拌機などはきれいなものを使用して下さい。
- 施工中および乾燥までの降雨・降雪は避けて下さい。
- 使用後の器具はお湯または水にて洗浄して下さい。ロットにより多少のバラツキがあります。
- パツモル太郎表面に着色等のために別材料を施工するのは、別材料の剥離やコンクリート余剰水によるパツモル太郎のフクレなど思わぬ障害が生じることがありますので避けてください。

<安全上の注意>

- 取扱中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具を着用して下さい。
- 目に入った場合は、ただちに清浄な水で最低 15 分間、目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受けて下さい。
- 室内で使用する場合は換気を十分とって下さい。
- 飲み込んだ場合は清浄な水で口の中をよく洗浄し、直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 取り扱い後は頭、手、口等を十分洗浄して下さい。
- 子供の手の届かないところに保管して下さい。

<保管上の注意>

- 製品湿気・凍結・直射日光を避け、気温 5℃以上 40℃以下で保管して下さい。
- 開封した材料は早めに使い切ってください。
- 製造年月日より、1 年以内に使用して下さい。

<輸送上の注意>

- 漏出を避けるため、容器の損傷がないことを確かめ、転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

<廃棄上の注意>

- 産業廃棄物として、適切な処理をして下さい。